

令和2年度地域少子化対策重点推進交付金(令和2年度第3次補正予算)実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 箕輪町 (都道府県: 長野県)

本事業の担当部局名 子ども未来課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.3 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組		
個別事業名	子育て応援タウンみのわ推進事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	- 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	箕輪町の総合計画「箕輪町第5次振興計画」では、「①出会い・結婚の支援」、「②妊娠・出産の支援」、「③育児・子育て支援」、「④地域で支える子育て環境づくり」の4つを柱に、少子化対策を進めることを定めている。その内、「③育児・子育て支援」では、すべての子どもたちが健やかに育つための「施策1」として保育の充実、病児・病後児保育など働きながら子育てをする世帯への支援、また、特別な支援が必要な子供・家庭への支援「施策2」としてこども相談室、児童発達支援事業所などの取り組みを行っている。本事業は、上記の取り組みを、子育て世代だけでなく、これから結婚・出産、子育てを含めたライフプランを描く若い世代に広く周知、アピールし、結婚・子育てに希望をもち、考えてもらうための事業とする。		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><現状と課題></p> <p>箕輪町では、総合計画に掲げた「子育てを支援する体制づくり」として、乳児、未満児保育を含めた保育の充実、就労する保護者が安心して子育てができる環境整備として病児・病後児保育、一時預かり、ファミリーサポートセンターなどに取り組むほか、妊婦、乳児検診の補助、乳幼児、児童の医療費無償化等経済的支援、小中学校でのICT環境整備など教育の充実など子育て支援施策を行っている。しかしながら、出生数、婚姻数、若者特に女性の人口がこの10年間減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数 H20年 194人 H30年 186人 R2年 151人(見込) ・婚姻数 H20年 131件 H30年 99件 ・15-39女性人口 H20年 4,104人 H30年 2,946人 <p>現在、箕輪町では、町ホームページのほか子育て情報発信アプリ、子育て支援サイト等により、子育て支援情報の発信を行っている。しかしながら、町が実施している子育て施策について住民への周知は十分でなく、また、これから結婚・妊娠、出産を自分のライフプランとして考え始める若い世代へのアピールする取り組みが不足している。</p> <p>結婚、妊娠、出産、子育てに将来的な不安や負担感を抱いている若者に対して、箕輪町の暮らしの中で実現可能な明るく幸せな希望の見えるライフプランを具体的に示していくことが必要である。</p> <p><課題への対応></p> <p>この課題に対応するため、これから結婚、子育てについて考える世代の若者や子育て世代に対して、箕輪町での人生プランが希望をもって描けるようなPRを行う。</p> <p>令和3年度は町の子育て支援を活用しながら、生き生きと働く女性、家族の様子を紹介するパンフレット、動画を作成する。</p> <p>また、町では、平成28年度には女性活躍推進の取組として町で活躍する女性を紹介する冊子・動画を、令和元年度には産業振興の取組として「モノづくりの町」箕輪でやりがいを持って働く若者に取材をした動画を各々作成しており、これら関連のコンテンツと連動させることで、本取組の効果をさらに高めたい。</p> <p><実施内容></p> <p>目的 箕輪町の子育て支援施策をわかりやすく紹介し、その子育て支援を活用しながら生き生きと子育てをする世帯を紹介することで</p> <p>具体的なイメージを若者世代に持ってもらう、結婚、出産、子育てに希望をもってライフプランを描いてもらう。</p> <p>箕輪町での子育てに魅力を感じてもらうことで、箕輪町で子育てがしたい、箕輪町に戻ってきたい、箕輪町に移住してみたい意識を</p> <p>醸成する。</p> <p>対象 中学性、高校生、箕輪町出身で県外で就学、就労する若者、移住を考えている子育て世代</p> <p>◎ 冊子</p> <p>役場関係窓口、商業施設等での配架、イベントでの配布、中学校等で教材として利用可能なことから子育て情報をわかりやすく紹介したパンフレットを作成。</p> <p>実際に就学等で箕輪町から転出したが、箕輪町に戻って子育てをしている人や、箕輪町に移住して子育て支援を利用しながら生き生きと活躍している人を取材し、あわせて子育て支援施策をわかりやすくまとめた冊子を作成。A4カラー8P 10,000部</p> <p>成人式等、町出身者の集まるイベントで配布、上伊那郡内の高校、短大に配布、若者が集まる施設等に設置、町のホームページ上にPDFファイルを掲載</p> <p>◎ 動画</p> <p>HPやFacebook、YouTubeなど、SNSでの配信ができ、町内外の若い世代にも訴求効果があることから、冊子の取材に合わせて、子育て中の町民の方のインタビューを3分にまとめたイメージ動画を作成し、以下の媒体で配信放映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページへの掲載 ・箕輪町行政チャンネル「もみじチャンネル」 		

- ・中学校、高校でのワークライフ教育への提供
- ・成人式等イベント
- ・移住定住イベント
- ・みのわの魅力発信室「Facebook」
- ・無料動画サイト「You Tube」での配信
- ・YouTubeから箕輪町子育て支援サイトへのリンク

※取材、撮影、デザイン含めた冊子、動画作成公開用ランディングページの作成を合わせてプロポーザルにて委託契約を行う。

【内訳】

- ・パンフレット A4サイズ カラー8ページ 10,000部印刷
- ・動画制作 3分、30秒版 町内にて撮影 1式
- ・動画配信用ランディングページ作成 1式

- ・パンフレット配布場所 役場関連施設:4か所×500部、子育て関連施設:10か所×200部
町内中学校:1か所×1000部 上伊那管内高校・短大:10か所×200部
商業施設:5か所×200部 イベント配布用:2000部

【留意点】

特定の価値観を押し付けたりするものでなく、個人の価値観、ライフプランへの考え方を尊重するよう配慮する。
新型コロナウイルス感染症拡大予防対策には十分配慮する。

＜次年度以降に向けた事業の方向性＞

完成したコンテンツを各種イベントにて配布、放映する。
女性活躍、若者就労の動画コンテンツとの組み合わせで発信することにより、「女性」「若者」「働き場所」「子育て」の町の具体的なイメージの浸透を図る。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

- 箕輪町女性活躍プロモーション用コンテンツ企画・制作事業
- 箕輪町輝くものづくりゲンバプロジェクト動画制作事業

個別事業の内容	KPI項目		単位	目標値	現状値	
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	年間動画閲覧件数		回	5000	
		子育て支援サイトアクセス数前年度比増加率		%	20	
		中学生、高校生がパンフレット、または動画を閲覧した率(アンケート)		%	50	
		閲覧した人のうち、子育てに対し意識が前向きとなった人の率		%	60	
・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5						
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)6	冊子の配架や動画の周知に、若者が利用する町内店舗の協力を得る。					
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 企画振興課 子ども未来課 (配慮すること) 冊子、動画の作成に当たっては、特定の価値観の押し付けとならないよう、注意することとする。					
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 結婚相談員等向けセミナー (随契の理由) 町規則で定める額を超えないため					
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 取組名: _____ 有の場合の担当部局: _____					

(注)
1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。

3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。